

経営比較分析表（令和4年度決算）

兵庫県宝塚市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 1	指定病院の状況 2
直営	31	対象	透し訓ガ	救臨災地輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
230,788	31,903	非該当	非該当	7:1

1 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療

2 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
436	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	436
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
329	-	329

グラフ凡例
当該病院値(当該値)
類似病院平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

機能分化・連携強化 (従来の機能・ネットワーク化を重視)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

地域において担っている役割

「患者の幸せを職員の幸せにつなぎ、地域から信頼される病院になります」という理念のもと、市内唯一の公立病院であり、急性期医療を提供する地域の中核病院として、良質な医療を安定的かつ継続的に提供しています。

新型コロナウイルス感染症への対応については、発熱外来、帰国者接触者外来を設置しPCR検査を実施するとともに、重点医療機関として重症を含む入院患者を受け入れた他、住民へのワクチン接種事業に当院医師、看護師、薬剤師が加わり、予防、診断、治療において一定の役割を果たしています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症専用病床確保等により病床利用率が60%を下回りましたが、入院単価は前年度比5,642円増加したため、医療収支比率は前年度比1.5ポイント改善しました。また、新型コロナウイルス感染症関連補助金の増加等も影響し、経常収支比率は前年度比1.5ポイント改善しました。過去3年間の傾向として、材料費対医療収益比率は横ばいで推移し、職員給与対医療収益比率は類似病院平均値に比べ高い割合で推移しています。改善に向けさらなる増収に取り組み、今後の健全経営につなげて参ります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、昭和59年(1984年)に竣工した建物の減価償却が進んでいるため類似病院よりも高くなっています。器械備品減価償却率は、耐用年数の経過した医療機器の更新や最新の医療機器の整備を継続的に進めていることから減少傾向にあり、令和4年度には類似病院の平均を下回っています。

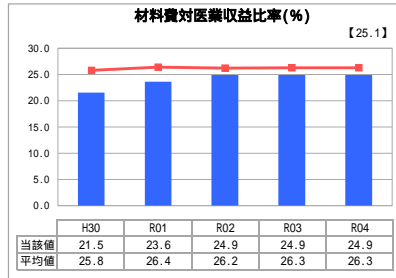
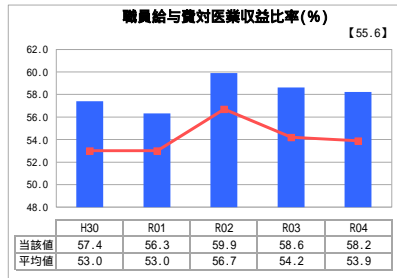
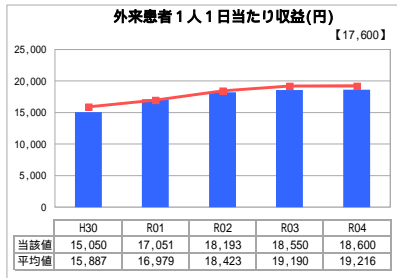
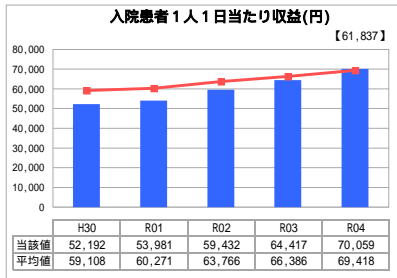
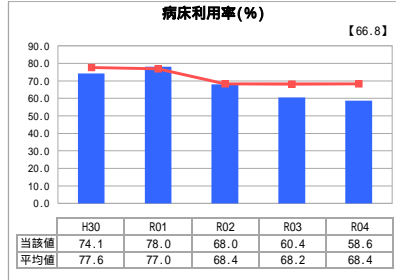
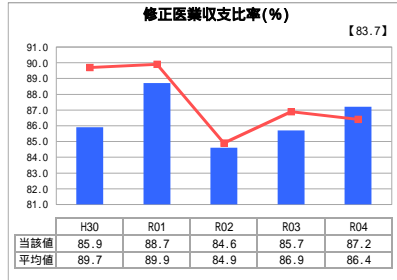
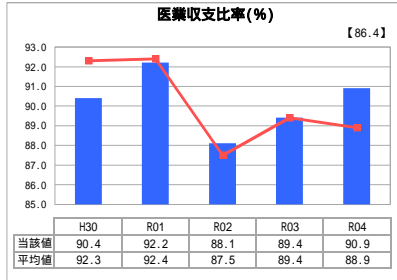
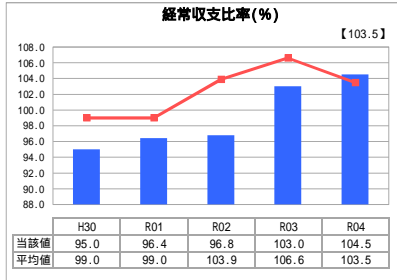
1床当たり有形固定資産が平均値より高いのは、敷地面積及び建物の延べ床面積が類似病院より大きいこと及び許可病床数が過去の480床から減少していることが要因と考えられます。

全体総括

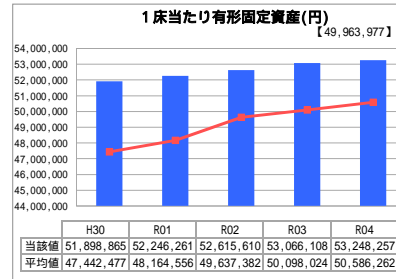
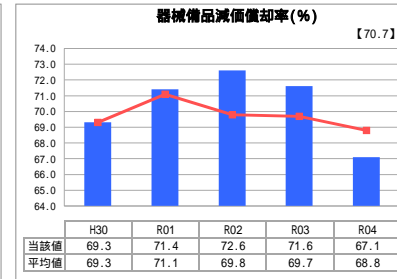
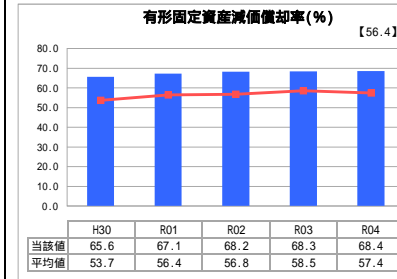
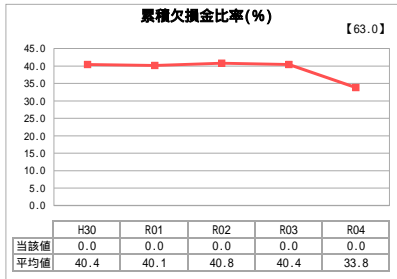
新型コロナウイルス感染症への対応により入院患者数が減少し経営状況に大きな影響を受けましたが、入院単価増加の方策を講じたことや新型コロナウイルス感染症関連補助金の確保等により経常利益、当年度純利益を維持することができました。

今後については、市と市立病院は、令和6年3月に「宝塚市立病院経営強化プラン」(計画期間:令和6年から令和9年度)を策定し、将来に向かい果すべき役割・機能、経営強化策、そして新病院の整備方針を明らかにし、事業及び経営の改善に向けて取り組み、地域医療支援病院としての役割を果たしていきます。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。